

発言通告書の要旨(一般質問)

令和2年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/11 (水)	1	5 金子辰男	1、新型コロナウイルス感染症対策について	新型コロナウイルスは瞬間に、非常に速いテンポで世界に広がった。国内感染数は3月4日現在で1,000名を超え、各種イベントの中止が相次いでいる。市の感染拡大に備えた対策、対応を伺う。
			2、教科書採択と正しい歴史教育の必要性について	教科書選定委員会の構成や基本的考え方について伺う。 教科書採択の手順はどのようにされているのか。文科省の通知では、教科書採択に関する情報、基準や結果、およびその理由等の公表が求められているが市の実情はどうか。 また、我が国の事実に基づいた正しい歴史を子供たちに教えるにはどうすべきか考えを伺う。
			3、パートナーシップについて	三豊市が四国の自治体では初めて「パートナーシップ宣誓制度」を導入したが、その主旨と今後の取り組みを伺う。 昨年2月からの検討経過を伺う。
	2	22 横山 強	1、ランドデザインとシティブランドについて	(1) 令和元年12月の一般質問に対し、答弁による、讃岐造船跡地だけでなく高瀬庁舎周辺を含めた、ランドデザイン等の疑問点と問題点を(1)～(10)までを伺う。 (2) コンサルにランドデザイン等の素案を丸投げしてないとの答弁の問題点等伺う。 (3) 讃岐造船跡地と周辺整備、高瀬庁舎周辺と民間敷地を、ランドデザイン計画している答弁で、事業予算計上が確定でない、無謀な事業実施とした問題点等を伺う。 (4) 答弁による担当部署が、ランドデザイン及びシティブランド計画のアンケートは、少数市民と職員により募り方が、3,042万円内訳としたアドバイザー料とした予算を議会や委員会に、審議しなかった問題点等を伺う。 (5) ランドデザイン及びシティブランドの素案評価が、適正と思えない問題点を伺う。 (6) ドックに関わる構造物を撤去及び解体とする調査業務による調査結果等を伺う。 (7) ランドデザイン及びシティブランド構築管理業務を担当部署の職員による立案構成とした答弁に対し、管理業務の問題点等を伺う。 (8) 三豊シティブランド及びランドデザイン構築業務(実施報告書)の中で、高額なコンセプト・メッセージ・シンボルの活用が、全国に反響とする根拠等を伺う。 (9) 三豊シティブランド及びランドデザイン構築業務によるアンケート調査として報告はあるが、3,040万円を計上した業務とするコンサルタントからの方向性とする報告書に関わる問題点等を伺う。 (10) 答弁による、今後、三豊市政の将来に向けたランドデザイン及びシティブランドとした構想が、行政部署の職務機能が、庁内関連部局、専門知見発揮できる専属の班とした取り組みの詳細等を伺う。 (11) 高瀬庁舎付近と讃岐造船跡地と周辺に対し、ランドデザイン及びシティブランド等と称して、令和2年度の予算に対する詳細を伺う。 (12) 今後、三豊市政に関わるランドデザイン及びシティブランド業務等を民間委託は廃止すべきでは、伺う。
	3	2 高木 修	1、ふるさと納税における、三豊市の現状について	(1) 極端な取り組みをしていた自治体もあり、法改正が実施されたが、三豊市での最新3か年分の納税(寄附)額と返礼品の費用の推移を教えてください。 (2) ホームページで見ると、返礼品も充実していると思うが、どういう基準で選定されているのか。 (3) 法改正の前と後で、三豊市において納税(寄附)行動に変化があったか。あったとしたら、今後どういう方向に取り組んでゆくのか。
			2、「広報みとよ」郵送作戦の成果について	(1) 故郷三豊を離れている方に「広報みとよ」を送ります、という取り組みが報じられていた。三豊市に目を向けていただくためには、非常にいい取り組みだと思う。応募者が何人いて、何件くらい送付しているのか、成果を教えてください。 (2) 三豊が故郷の人にとっては貴重な情報源だと思う。どのくらいの期間送って差し上げられるのか、教えてください。
			3、公共施設トイレの洋式化について	(1) ご年配の方を中心に、足や腰の痛みからくる和式トイレの使いづらさを訴える声が多い。執行部として、現状をどのようにとらえておられるかについてお聞かせ下さい。 (2) 切実な課題だけに、計画的に予算を振り向け、順次切り替えていくべきと考えるが、執行部の見解をたずねる。
			4、国道32号線新猪ノ鼻トンネルの利活用推進について	(1) 2016年2月に着工した新猪ノ鼻トンネルが、いよいよ2020年度中にも供用が開始される。三豊市として、これをどう活かしてゆくか、執行部の見解をたずねる。 (2) 徳島県三好市とも新たなステージでの関係を結ぶきっかけになろうかと思うが、これについてはどのように考えられるか。 (3) 新猪ノ鼻トンネルの経済効果はどのくらいと見ておられるか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和2年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/11 (水)	4	11 石井勢三	1、認知症における現状と対策について	平成29年度高齢者白書によると、2012年は認知症患者数が約460万人、高齢者人口の15%という割合だったものが2025年には5人に1人、20%が認知症になるという推計もある。対応について問う。 (1)三豊市における現状は (2)認知症への理解を深めるための普及・啓発について (3)医療、介護、介護施設等の支援強化について (4)徘徊等の見守りについて
			2、令和2年度からの新しい学習指導要領が実施されるが、この対応について	2020年(令和2年)度からの新しい学習指導要領「外国語教育」及び「プログラミング教育」が実施される。その中で、3・4年生において「外国語活動」が、5・6年生は教科としての「外国語」が導入される。また、プログラム教育が導入されるが、市としての考え、対応を問う。 (1)各小中学校への外国語教育・プログラミング教育の教師の配置、知識について (2)小中学校で実施するプログラミング教育(ICT機器の整備環境含む)について (3)新たに「外国語教育」「プログラミング教育」を導入することで授業時間数の増加があるのか。
			3、職場環境について	子ども達だけでなく、職場においてもいじめの事件が問題になっている。我が三豊市役所、学校での現状を聞く。
	5	16 瀧本文子	1、子育て支援について 妊娠から出産・2歳までの支援について	(1)不妊症支援の充実(市補助金の充実) (2)「子育てホームヘルプ事業」の利用期限の延長など、多胎児支援の充実
			2、新型コロナウイルス対策について	2月28日、政府は全国一斉学校休校を各自治体に要請して、三豊市は3月3日から一斉休校に入ります。唐突な方針に全国的に混乱が起きており、現場の学校はじめ学童保育などで、体制がとれるかなど、大変心配されています。1～2週間のとりあえずの措置等を経て、三豊市の状況を伺います。
			3、施政方針について 「夜間中学校」設立の構想について	施政方針において、学びの場としての「夜間中学校」の設立に向けた検討を明記し、不登校、引きこもりなどの子供たちの学び直しの場を提供し、「貧困の連鎖」を断ち切るという重要な意義もある、と述べています。と同時に「市在住の外国人の日本語学校としての役割を果たす」ともあります。この構想の具体的内容について伺います。
			4、子どもの貧困について	昨年「子どもの貧困対策法」が改正され、その大綱が見直されました。現状は多様であり、ひとり親世帯はじめ子供を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。実態調査を実施し、より正確な現状把握につとめ、より適切な対策が立てられるようお願いいたします。三豊市の考えを伺います。
	6	1 近藤 武	1、観光行政について	父母ヶ浜周辺の駐車場、交通の課題や、関係人口の拡大、地元の人たちとの関わり合いや展望、今後観光客の流れをどうするのかを聞く。
			2、河川浚渫工事について	雨の少ない三豊市でも河川は数多く存在している、年々堆積している土砂は増え続けている、防災や減災、地域住民の生命を守るためには定期的な浚渫工事は必要と考えるが、市の考えを聞く。
			3、タラ号について	環境教育の推進や啓発活動を展開し、海洋環境の保全につなげることを目的に、連携協力することを決め、三豊市と協定書を締結したが、今後どのように連携協力をするかを聞く。
			4、レジ袋有料化について	7月1日からレジ袋の有料化が始まる。市として、どのような取り組みをするのかを聞く。
			5、ごみ処理について	三豊市でもごみの分別に取り組んでいる、分別するのは市民だが、分別をすることでどれくらいの費用対効果があるのかを聞く。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和2年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/11 (水)	7	10 市川洋介	1、次世代地域交通について	(1) 政策部内に交通政策課の新設の役割について (2) 交通政策課の主な業務について (3) MaaSによる交通施策について (4) 交通弱者であるコミュニティバス利用者の今後の施策について (5) 他地方自治体との広域連携(交通施策、相互バス乗入等)について
			2、新型コロナウイルス感染症について	(1) 新型コロナウイルス感染症の三豊市の状況について (2) 新型コロナウイルス感染症の三豊市の検査について (3) 医療機関及び保健所との連携について (4) 三豊市における相談窓口について
3/12 (木)	8	19 丸戸研二	1、マイズムの活用策について	(1) スマート農業 ・AIによる農業振興 (2) 民間企業の参加 ・民間企業の投資意欲 (3) デジタルファースト宣言との連携 ・様々な分野でのチャレンジ
			2、工業用水について	(1) 現状はどうなっているのか ・これまでの取組み状況と現状 (2) 今後の計画は ・考え方とスケジュール ・事業費の負担と経営計画
			3、スポーツ振興について	(1) スポーツ振興課を設置した成果は (2) スポーツに取り組む生徒たちの応援策は (3) 市民皆体育と健康づくり
	9	4 田中達也	1、デジタルファースト宣言について	施政方針でデジタルファーストを宣言しているが、具体的にどのような施策を検討しているのかについて問う。
			2、地域課題の抽出における、住民情報の活用について	施政方針には、国勢調査の調査結果からのエビデンスに基づく政策の展開に努めるとあるが、基礎自治体を持つ最高のデータは自ら入力している住民情報であり、これを活用することで、国勢調査をはじめRESASで提供されているマクロデータを上回る精度の課題抽出が可能であると考え。住民データ活用についての考えを問う。
			3、市の情報発信のあり方について	新型コロナウイルスに関連するデマ情報が世間を混乱に陥れていることから、市民が今求めている情報を、早く、正確に届けることで、信頼できる情報ソースとなることが、基礎自治体に求められている。そこで前定例会でも取り上げた、プッシュ配信による情報配信について、どのような検討がなされているのかを確認する。
			4、マイナポイント普及対策について	2020年度中に、総務省によりマイナポイント事業が実施されようとしている。キャッシュレス決済事業者でチャージまたは買い物をすると25%(上限5000円)のポイントを付与するものであるが、利用にはマイナンバーカードの取得が必須とされている。住民一体(One)となって活用すべき施策と思われるが、その普及策についてはどのように検討されているのかを問う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和2年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/12 (木)	10	18 西山彰人	1、施政方針について	「One MITOYO 心つながる豊かさ実感都市」について SDGs(エス・ディー・ジーズ)について グランドデザインと非耐震公共建物の取り扱いについて
			2、祭りなどのイベントの見直しについて	祭りなどのイベントの見直しすべきと思うがどうか。 イベントごとにテコ入れを考えてはどうか。
			3、職員の働き方改革と職場環境について	三豊市職員の働き方改革について 職員の意見が反映される職場になっているのか。 新規採用者の就業辞退者の実態はどうなっているのか。
	11	13 坂口晃一	1、組織・機構の強化策について、市長に伺う	(1)一年間の成果を問う (2)活性化対策と人材確保の方針 (3)人口減少防止対策と市民サービスの向上について (4)公共施設の2分の1処分の収支計画を示せ (5)特例債の乱用防止について
			2、市立病院建設計画について、市長に伺う	(1)計画の変更について問う (2)CM(コンストラクション・マネジメント)方式に対する責任、施設、医療機器等責任に対する契約書について (3)NPO法人医療施設近代化センターから、認定NPO法人健康都市活動支援機構に引き継ぐ理由と責任は
	12	6 浜口恭行	1、エビデンスに基づく政策の展開について	5年に一度の国勢調査が行われる中で、様々な統計などの調査結果や住民ニーズを的確に把握した基礎データによる施策、数字を用いながら政策・施策を作り上げていく、エビデンスに基づく政策の展開が将来的にも重要になると考える。 政策効果の測定に重要な関連を持つ情報や統計等のデータを活用したEBPM(証拠に基づく政策立案)の推進は、政策の有効性を高め、市民の行政への信頼確保に繋がると内閣府でも推進しているが、本市でも今後はEBPMを推進するべく、MaaSやRPA、ICT等先端技術を含め、本年はどのような施策でさまざまな取り組みを進めていく計画があるのかを聞きたい。
			2、北部学校給食センターについて	第2次総合計画において、前期5年間の重点プロジェクトで「北部学校給食センター整備事業」が掲げられてはいるが、建設用地が変更になる等、当時とは状況が変更になった点を考えれば、今後はどのようなスケジュールや建設用地の選定、及び整備運営手法など基本的な整備方針となるのかについて聞く。
			3、移住・定住施策について	人口減少に「抗う」大きな柱となる、移住定住促進について、特に関係人口施策、空き家バンク、若者世帯の住宅取得支援などについての成果、学生合宿誘致促進補助制度の新施策や民間投資などについて、具体的な施策の内容を聞きたい。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和2年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/12 (木)	13	12 岩田秀樹	1、ジェンダー平等社会実現めざして	パートナーシップ宣誓制度から一歩進んだ取り組みを行えばどうか。 「性的指向」や「性自認」について理解を深める取り組みを実施する必要がある。 ジェンダー平等の取り組みを行う中で、多様な取り組みとなるのでは。
			2、ふれあいパークみものについて	(1)改修工事する値打ちのある利用状況なのか。 (2)チケット購入状況などの経営状況はどうなっているか。 (3)5年間、指定管理となれば経営に口出できないのか。
			3、学校統廃合について	(1)財田・山本の学校統廃合の成果と課題・教訓はどうか。 (2)平成23年答申における、学校適正規模・適正配置の基本的な考え方はどうか。
			4、国連「家族農業の10年」について	世界の家族農家は、食料の70%以上を生産している。農業は世代交代に直面している。その中で、日本はなぜ家族農家を支援できていないのか。